



2024年6月27日

各 位

会 社 名 株式会社KYORITSU
代表者名 代表取締役社長 景山 豊
(コード: 7795 東証スタンダード)
問合せ先 取締役管理統括 田坂 優英
(電話番号: 03-5248-5550)

「事業計画」の策定に関するお知らせ

当社は、2024年6月27日開催の取締役会において、経営環境の変化に柔軟に対応し、持続的な成長と中長期的な企業価値向上を図るための「事業計画」を策定することについて決議いたしましたので、別添のとおり、お知らせいたします。

以 上



KYORITSU

事業計画

株式会社KYORITSU

(証券コード：7795)

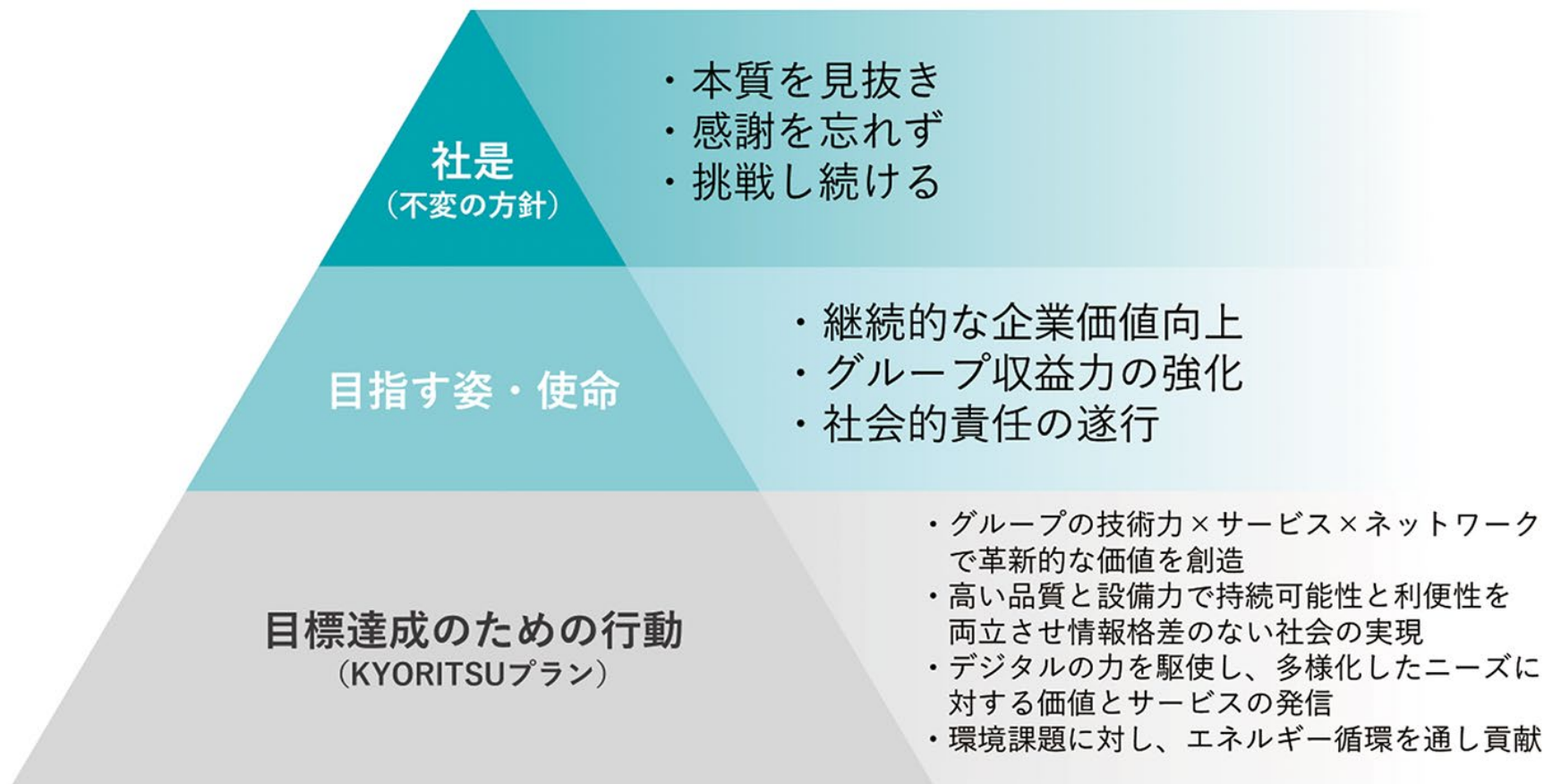
2024年6月

- 1 事業計画**
- 2 各事業の取り組み**
- 3 資本コストや株価を意識した経営の
実現に向けた対応方針の策定について**
- 4 2024年3月期決算概要**

1

事業計画


行動指針



私たちKYORITSUグループはこれまで培ってきた製造力と時代の変化に対して柔軟に対応できる力強い組織力で新たな価値創造への挑戦を続けています。これからもお客様と共に成長できる企業、信頼され、必要とされる企業であり続けるため、各事業を通じ、価値あるサービスを提供します。


事業ポートフォリオの構築

株式会社KYORITSU

 **情報デジタル事業**


- DMサービス事業
- 小売店アソートメント事業
- データ制作事業
- 配信取次事業
- IP事業
- 投稿サイト運営事業

共立印刷株式会社
株式会社西川印刷
株式会社暁NEXT

 **プリントメディア事業**

- カタログ
- チラシ
- 書籍
- 雑誌
- パンフレット

共立印刷株式会社
株式会社暁印刷
株式会社西川印刷

 **環境事業**

- 生分解性プラスチック製造事業
- プラスチック類再生事業
- RPF燃料製造事業
- 産業廃棄物処理事業

株式会社今野
株式会社山陰クリエート
株式会社インターメディア・コミュニケーションズ

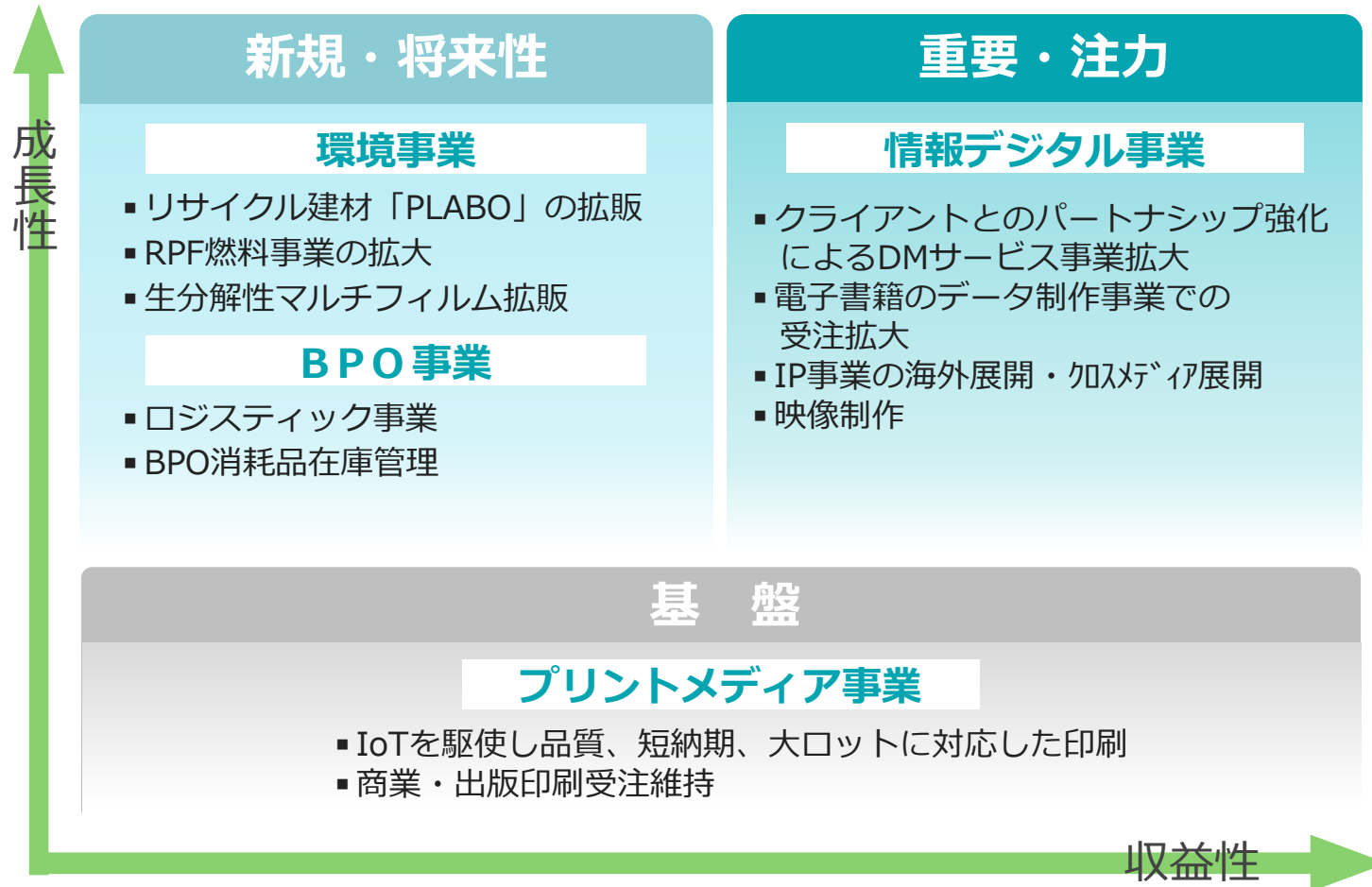
 **BPO事業**

- ロジスティック事業
- 商業流通事業

共立印刷株式会社
株式会社暁印刷

4事業の収益性・成長性の位置づけを明確にし、
戦略的な経営資源の投下を実現する

企業価値向上に向けた取り組み



■ 戦略的ポートフォリオの構築

- 情報デジタル事業をグループの中核事業と位置付け、戦略的に資金・人財を投資し、事業拡大を目指す
- 将来に向けた成長投資として、戦略的M&Aや設備投資の実施する

2027年3月期までの数値目標

営業利益率

5% 以上

自己資本比率

40% 以上

配当性向

30% 以上

- 各事業の成長性と収益性の位置づけを明確にし、戦略的に経営資源を投下することでKYORITSUグループとしての成長を加速させる
- 外部要因にも耐えられ、かつ成長戦略投資を可能にする強固な財務体質を構築する
- 新たな価値を創出し続ける企業を目指して株主のみなさまとのコミュニケーション強化と安定的・継続的な株主還元を実現する

① 営業利益率5%以上

当社は、事業の本質を営業利益の拡大及び営業利益率の改善と捉えており、営業利益率を重要業績評価指標（KPI）と位置付けております。情報デジタル事業、プリントメディア事業、環境事業、BPO事業の収益性と成長性の位置づけを明確にし、戦略的に経営資源を投下していきます。

KYORITSUグループとしての収益成長を加速させるために、祖業の印刷事業で培ったノウハウ、具体的には、効率的な生産体制や高品質保証体制の共有、資材等の共同購入、信頼を積み重ねてきた取引先とのパートナーシップのさらなる強化と機密性の高い情報を活かした販路拡大など事業部間のシナジーを活かした事業拡大を目指します。

② 自己資本比率40%以上

感染症等によるパンデミックや国際紛争、為替動向、金利動向など様々な外部要因により日々変わる経営環境に対し、柔軟に対応できるよう、またそうした中でも成長の機会を見逃さず成長戦略投資ができるよう強固な財務体質にするため、収益の積み上げによる財務体質強化を目指します。

③ 配当性向30%以上

KYORITSUグループとしての収益成長を加速させるための成長戦略投資と強固な財務体質構築のために必要な資金を確保しつつ、株主の皆様への安定的かつ継続的な株主還元を目指します。

2

各事業の取り組み

DXプロモーションとデジタル媒体の創出

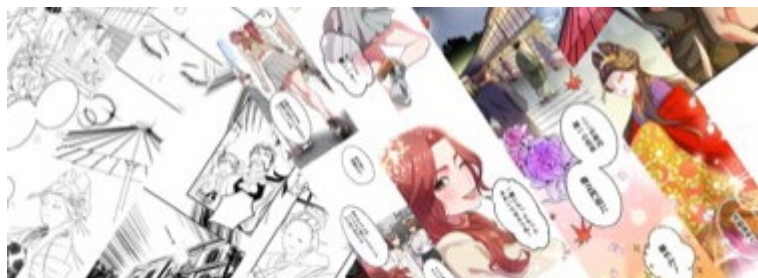


DMサービス事業

クライアントとのパートナーシップを強化することで機密性を高めた個人情報取扱専門工場で、購入履歴やデジタルデータを基にエンドユーザーの好みに合わせた個別の販促情報を掲載したダイレクトサービスの受注拡大

データ制作事業（カラーリング、タテスクロール化）

安定したクオリティでスピーディーかつ大量制作を実現する工程ごとの分業制で、クリエイターの増員を図り、受注拡大に対応



IP事業の海外展開

IP作品のヒットタイトルによるファン獲得と国内外向けのクロスメディア展開を目指し、IP作品の動画制作など事業領域の拡大に注力



IoTを駆使した価値創造で生産性向上



受注から納品のシステム化

基幹システムと生産管理システムを連携し、クラウド管理することで、品質管理の徹底と生産効率を追求

KYORITSU オンライン校正システム
オンライン校正を利用することで、多様なご要望にお応えいたします。

アナログ校正の制限や煩雑さも…

一元管理&遅延なく作業
時間を生み出す。工程がシリアルにリモートワークにも

これで解決!

PC環境があれば大丈夫!
タブレットにも対応!

デリバリー待ち
時間がもったいない…

赤字の集約
担当者が複数の場合
煩雑に…

検版作業
どんだん
作業時間が…

オンライン校正

安全かつ、よりスピーディーな校正が可能なオンライン校正システムのサービス提供の強化で顧客満足度を向上



ファクトリー・オートメーション

自動搬送システムを活用した生産ライン導入、再生エネルギーの活用など、環境負荷を低減し、自動化・省力化を加速

環境にやさしい製品で環境社会に貢献

JBPA登録商品名
らくらくマルチ

生分解性
プラマーク
製品登録番号



黒
白黒



黒マルチ：1283
白黒マルチ：1284

生分解性マルチフィルムの販路拡大

使用後ははぎ取り作業・廃棄物処理が不要となる生分解性マルチフィルム製品を全国展開するホームセンターなどへ販路拡大



プラボ
PLABO

プラスチック類再生事業

リサイクル資材「PLABO」のECモールへの出店など、販路拡大を推進し、プロモーション戦略によるブランディングを強化



RPF燃料製造事業と最終処分場

廃棄物回収量の拡大に努め、リサイクル資材に再生できない廃棄物を成形したRPF燃料の生産拡大、新たな最終処分場の認可による事業領域の拡大に注力

システムを活用し、新たなサービスを展開



ロジスティック事業

自社開発の受発注システムを活用した検品、
自社開発の配車システムなど、物流ラインに
システムを組み込んだ業務の効率化



商業流通事業

包装材などのモノづくりから物流請負業務まで
窓口一本化を実現。埼玉県川越市にセン
ターを構え、商業流通事業の規模拡大をめざ
す



商業流通

先方業務負担軽減

店舗オペレーション軽減

事務局運営

在庫管理+ **店舗配荷**



ロジ
スティック

在庫管理

フルフィルメント

事務局運営

アッセンブリ+ **ピッキング**

ソリューション

多店舗展開されているお客様の販促物、消耗
品、包装資材などの資材の在庫管理・発送管
理のトータルサポートなど顧客に合わせた新
サービスの開拓

3

資本コストや株価を意識した経営の 実現に向けた対応方針の策定について

PBR向上への目標と今後の取り組み

【現状分析】 当社のPBRは足元0.4-0.5倍程度という状況にあり、長期に渡り1倍を下回る状況が続いております。また当社は、事業の本質を営業利益の拡大及び営業利益率の改善と捉えており、営業利益率を重要業績評価指標(KPI)と位置付けておりますが、2024年3月期実績で4.1%という水準でありPBRを低水準に留めている要因の一つであると認識しております。

【PBR改善に向けた目標指標】

2024年6月に策定した事業計画において掲げた「営業利益率5%以上、自己資本比率40%以上、配当性向30%以上」の着実な実現を目指します。

【PBR向上への施策】

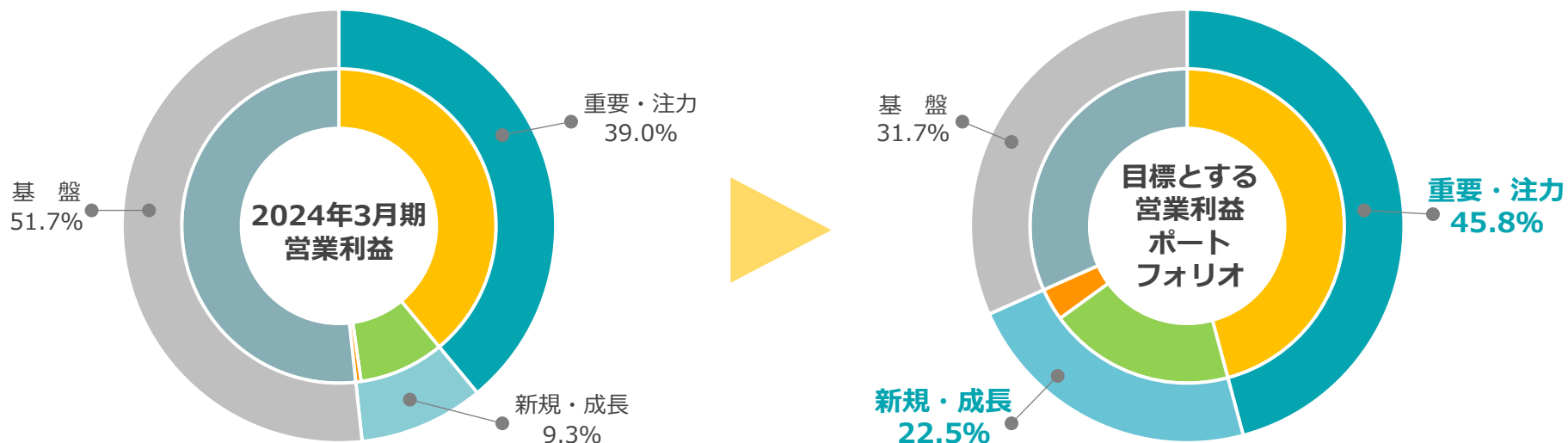
● **事業ポートフォリオの改革**

当社は、事業の本質を営業利益の拡大及び営業利益率の改善と捉えており、営業利益率を重要業績評価指標（KPI）と位置付けております。「情報デジタル事業」、「プリントメディア事業」、「環境事業」、「BPO事業」の収益性と成長性の位置づけを明確にし、戦略的に経営資源を投下していきます。

KYORITSUグループとしての収益成長を加速させるために、祖業のプリントメディア事業で培ったノウハウ、具体的には、効率的な生産体制や高品質保証体制の共有、資材等の共同購入、信頼を積み重ねてきた取引先とのパートナーシップのさらなる強化と機密性の高い情報を活かした販促サービスの拡大など事業部門のシナジーを活かした収益拡大を目指します。

資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた 対応方針の策定について

- 「情報デジタル事業」をグループの中核事業と位置付け、戦略的に資金・人財を投資し、事業拡大を目指します。
- 「環境事業」「BPO事業」を将来の収益の核とするべく設備投資やM&Aなど成長戦略投資を行ってまいります。
- 「プリントメディア事業」では、グループの基盤となるべく、IoTを駆使した価値創造と短納期・大ロット印刷を実現することで、情報格差のない社会の実現を目指し、お客様の多様なニーズに対応するソリューションを提供することで受注量確保に努め、収益力確保を目指してまいります。
- 各事業の位置づけを明確にしたアライアンスやM&A、新規設備投資等の成長戦略投資を行うことでKYORITSUグループとしての収益の拡大を目指します。



資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた 対応方針の策定について

●財務戦略・資本政策

自己資本比率40%以上を継続できるように収益力の強化と共に、調達余力を意識した有利子負債水準を意識しつつ、機動的な成長戦略投資にも対応するべくネットキャッシュ残高を意識した財務体質を構築し、持続的な成長に向けた「成長戦略投資」「財務の健全性」「株主還元」のバランスを追求します。

●株主還元

配当方針については、「当社は、将来の事業展開と経営体質強化のために必要な資金を確保しつつ、配当性向30%以上を目標に、株主のみなさまに対する安定的かつ継続的な配当を行うこと」を基本方針としております。

●IR戦略

PERやPBRの低水準については、当社事業に対する成長可能性や将来の期待値が低いと認識されている事も要因の一つと考えております。
株主・投資家のみなさまとのコミュニケーションを重視し、対話の機会を増やすことで当社グループへの理解を深めていただくよう努めます。
具体的には、決算説明・投資家面談の内容充実、各種IRツールを通じた情報提供の充実などを行ってまいります。

4

2024年3月期 決算概要

連結業績ハイライト

売上高

40,022百万円

前年同期比0.6% 減

営業利益

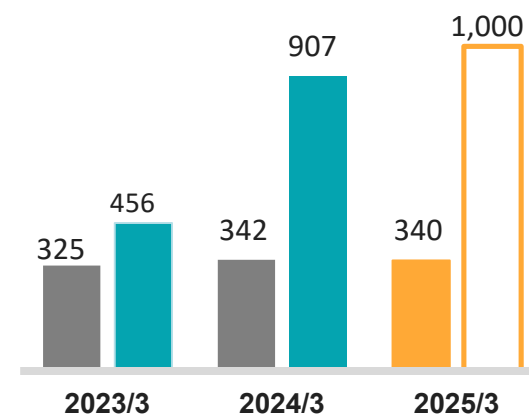
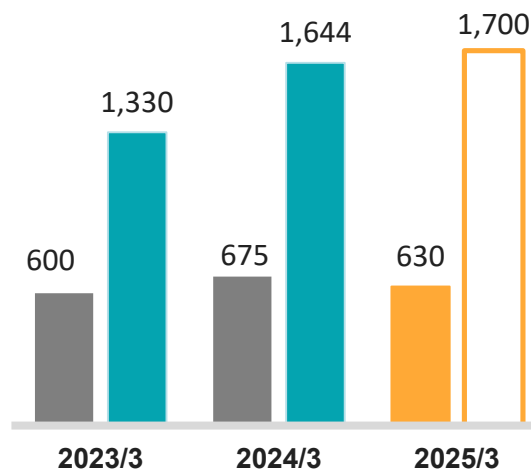
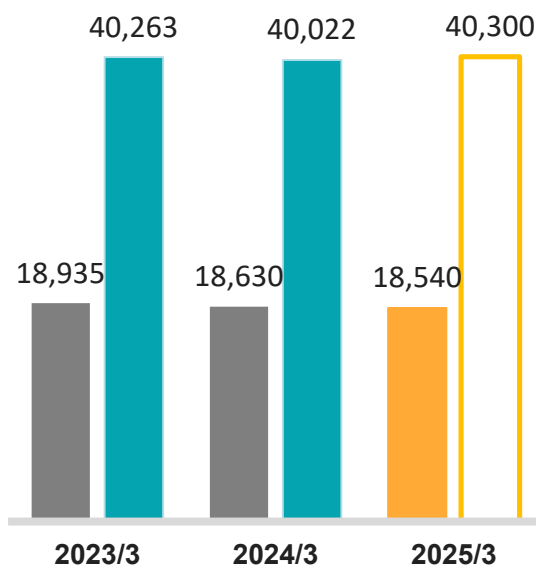
1,644百万円

前年同期比23.6% 増

親会社株主に帰属する 四半期純利益

907百万円

前年同期比98.6% 増



■ 2Q ■ 4Q ■ 予想2Q □ 予想 (百万円)

連結業績概要

	2023年3月期	2024年3月期	前年 同期比	2025年3月期 予想
売上高(百万円)	40,263	40,022	-0.6%	40,300
営業利益(百万円)	1,330	1,644	23.6%	1,700
営業利益率	3.3%	4.1%	—	4.2%
経常利益(百万円)	1,222	1,520	24.4%	1,600
親会社株主に帰属する 当期純利益(百万円)	457	908	98.6%	1,000

株主還元

	2023年3月期 実績	2024年3月期 実績	2025年3月期 予想
一株あたり 年間配当	普通配当5.0円 持株会社化記念配当1.0円	普通配当7.0円	普通配当 7.0 円
配当性向	57.9	33.8	30.7%
自己株式取得	298百万円	—	32.6百万円
総還元性向	122.4	—	33.8%

2024年3月期は、直近の配当予想から1円の増配を行いました。

■ 配当方針 ■

当社は、将来の事業展開と経営体質強化のために必要な資金を確保しつつ、配当性向 30%以上を目標に、株主のみなさまに対する安定的かつ継続的な配当を行うことを基本方針としています。

会社概要

社名	株式会社KYORITSU
所在地	東京都板橋区清水町36番1号
事業内容	グループ経営戦略策定・管理並びにそれらに付帯する業務
資本金	33億9,384万円
決算期	3月31日
上場取引所	東京証券取引所スタンダード市場（証券コード：7795）
役員	代表取締役社長 景山豊 取締役 田坂優英 社外取締役 藤本三千夫 社外取締役 亀井雅彦
URL	https://www.kyoritsu-hd.co.jp/



本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。